

沖縄 PCR に行列「昨年夏にタイムスリップしたみたい」 陽性率 5 割超の日もコロナ急増

7/02 琉球新報

新型コロナウイルスの感染者が再び急増し、沖縄県那覇市内の PCR 検査所では朝の時間帯などに行列ができ始めている。5 類移行を境に検査は有料になり、検査数はいったん落ち着きつつあったが、次第に増加し陽性率も上昇している。入院患者は増え続け、医療も逼迫（ひっぱく）。感染の最大波が押し寄せていた昨夏のような光景が再び現れている。



「沖縄 PCR 検査センター」を県内 5 カ所で運営するミタカトレード沖縄支社によると、ゴールデンウィークが明けて 1 週間あたりから検査数が増え始めた。6 月後半には陽性者数は連日 100 人を超え、陽性率が 5 割を突破する日もある。

通常の PCR 検査費は 5 千円だが、感染

急増を受け 7 月 1 日から抗原検査を含め 2 週間限定で千円にした。同日朝、那覇市内の店舗ではオープン前から数十人が列を作った。子どもと並んだ 30 代女性は「親にうつしたくないので、念のため受けに来た」と話した。

同センターの担当者は直近の状況を「(第 7 波があった) 昨年夏にタイムスリップしたようだ」と説明する。「受けたい人は潜在的にまだ多く、やはり値段はネックだと感じる。陽性率が高いので、この機会に社会活動の判断材料にしてほしい」と話した。

新型コロナの感染などで入院している患者は 1 日時点で千

	指定医療機関からの報告数	1 医療機関あたりの平均人数	県全体の推計感染者数
5月15日～21日	583	10.80	2,740
5月22日～28日	559	10.35	2,620
5月29～6月4日	853	15.80	4,000
6月5日～11日	994	18.41	4,660
6月12日～18日	1552	28.74	7,280
6月19日～6月25日	2132	39.48	10,000

人超。内訳は、コロナ患者を受け入れる重点医療機関などで約 670 人、それ以外の病院では約 340 人だ。各病院は 6 月に入ってから病床確保が難しい状態だが、新規感染者の増加は止まらないため、病院間の入院調整は日増しに困難になっている。

(當山幸都、嘉陽拓也)